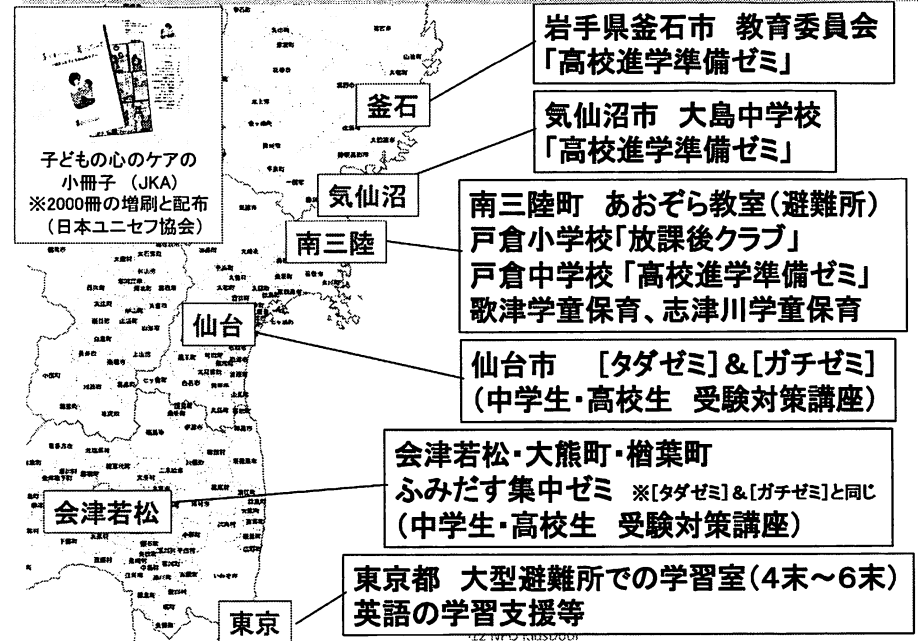




## NPO法人 キッズドア 2011年度 キッズドアの復興教育現場



## NPO法人 キッズドア 2012年度 実施中の活動

### 宮城県

- ・宮城県南三陸町立戸倉小学校・志津川小学校 放課後子ども見守り事業 (委託: 南三陸町、資金協力: 日本ユニセフ協会)
- ・震災等で経済的困難を抱える中高生向け受験対策講座 [タダゼミ] [ガチゼミ] (共催: 仙台市教育委員会 独立行政法人福祉医療機構助成事業)
- ・仙台市立高砂中学校 かもり学習会 (文部科学省: 緊急スクールカウンセラー等派遣事業「生徒指導体制強化事業」)
- ・南三陸町戸倉中学校 放課後学習支援 (文部科学省: 緊急スクールカウンセラー等派遣事業「生徒指導体制強化事業」)
- ・徹底的英会話・グローバル教育 「TEENS Global Cafe」 (資金提供: 住友商事)

### 福島県

- ・コミュニティ・スクール「ならはキャンパス」 (文部科学省: 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業)
- ・双葉郡楡葉町立楡葉中学校 ゆずり葉学習会 ※湯本仮校舎、空の家 (文部科学省: 緊急スクールカウンセラー等派遣事業・生徒指導体制強化事業)

### 広域避難者

- ・2011年度より引き続きイベント機会の提供等

## NPO法人 キッズドア 放課後子ども見守り事業

### 宮城県南三陸町立戸倉小学校・志津川小学校

#### 背景

南三陸町では、学童保育事業はあるが利用者のごくわずか。放課後子ども教室事業は実施していない。(志津川小 約280名中3名、戸倉小 約70名中0名)

#### 原因

1. (保育の欠ける児童に対する事業趣旨から)保護者の就業条件が厳格である
2. 2012年度から月額5,000円の費用が掛る
3. 保護者等によるお迎えが必要(自家用車のない家庭は利用できない)
4. 基本、小学校3年生までである

#### 小学校のニーズ

- ・学校の放課後に校庭や体育館での遊び、教室等での学習の見守りをしてほしい
- ・利用料は、無料
- ・送迎は不要。16時バス(または一部歩き)で児童は一斉に帰らせたい
- ・基本1~6年の全員を対象にしたい

町にも、実施予算がない(実施規定もない)ため、2012年度は日本ユニセフ協会様から資金援助を受けて実施するに至った。

## 1. 実施概要

東日本大震災の影響により制限された放課後の子どもたちの安全で健やかな居場所を補完するため、子どもたちに放課後の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、子どもたちに勉強やスポーツ・文化活動・体験活動等を実施するもの

※地元保護者等を指導員として育成して雇用

## 2. 実施期間

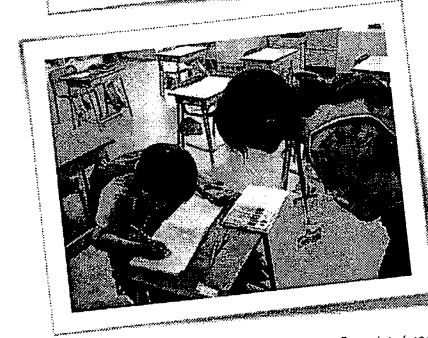
平成24年5月23日から平成25年3月31日まで  
各学校の行事予定に従う

## 3. 実施時間

原則、14時30分から16時00分まで



Copyright(c)2012 NPO KidsDoor

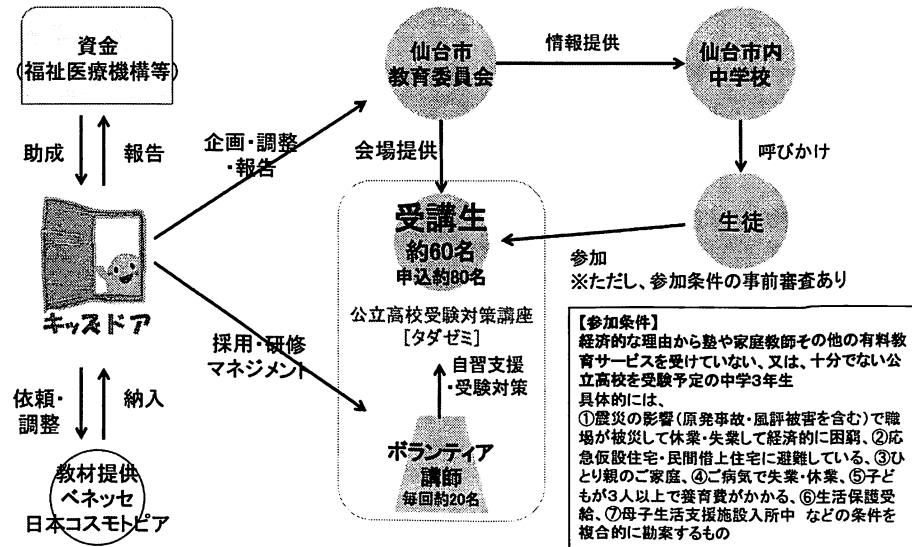


Copyright(c)2012 NPO KidsDoor

震災等で困難を抱える中3生向け無料の公立高校受験対策講座

## [タダゼミ]、[ガチゼミ]

共催：仙台市教育委員会



Copyright(c)2012 NPO KidsDoor

## 無料の公立高校受験対策講座[タダゼミ]

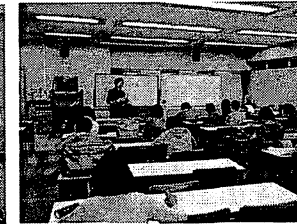
### ■3つの形式で学習補助

学習内容に応じて、学習形式を替えて実施しています。なお、集団授業の際も、ボランティア等が隣に座る等して、ノートが取れているかを確認したり、理解が追いついていないようであれば助言します。

### 個別指導(主に、数学・英語)



### 集団授業(社会、テスト等)

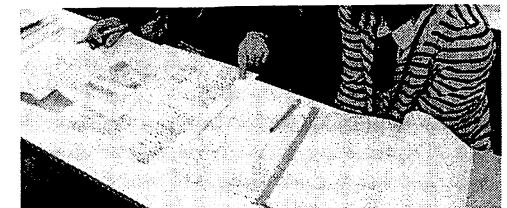


### グループワーク(国語等)



### ■必ず学習計画を立てて、進捗を確認する

生徒の得意・不得意を確認テストで把握したうえで、学校の宿題や部活、学校行事、家事手伝い等の予定を確認しながら、どの時間に何の勉強をするのか予定を埋めていきます。次回参加した時には、予定通りできたかの自己チェックと共に、何が問題で、次はどうしようかを、講師と一緒に考えて予定を組みます。



Copyright(c)2012 NPO KidsDoor



「ならばキャンパス」とは

- ・福島県いわき市に避難している双葉郡檜葉町の住民を対象
- ・子どもの学習補助を主目的としたコミュニティ・スクール(生涯学習事業)

事業の趣旨

- ・学力向上、高校・大学受験対策  
小中高生の学習場所の確保・家庭学習用コンテンツの整備・提供
- ・安心できる居場所づくり  
一緒に学び・遊び・スポーツ等を通じて交流できる場所の確保
- ・世代を越えた住民の交流の場  
地域コミュニティ再生に必要な資源の発掘・絆の強化

具体的な実施内容例

- ・放課後の学習支援「ゆずり葉学習会」@仮設校舎
- ・夜間の学習会「ゆずり葉学習会in空の家」@コミュニティセンター

放課後の学習支援「ゆずり葉学習会」

- ・毎週火・木 16:00~18:00
- ・檜葉中学校(仮設校舎)の放課後に実施
- ・試験期間直前や長期休業中は追加で実施
- ・中学校と成績データ等を共有しながら支援内容を改善する
- ・現地のSSWやカウンセラー、大学等と連携しながら学習補助を行う



夜間の学習会「ゆずり葉学習会in空の家」

- ・毎週月・水・金 19:00~21:00
- ・コミュニティセンター「空の家」にて実施
- ・いわき市内の他の中学校に通う生徒(檜葉町住民)も参加する
- ・生徒一人ひとりのデータを分析し、学習内容を改善していく
- ・現地のSSWやカウンセラー、大学と連携しながら学習補助を行う



緊急支援

- ・避難所での遊びと学び ・心のケア など

学習の遅れ欠如を取り戻す支援

- ・学校での放課後補習
- ・学童保育(保護者の生活再建)

震災体験をバネに復興を支える人材輩出へ

- ・キャリア教育 ・グローバルな人材育成

常に新事業の開発・モデル事業の実施  
高いスキルを持つ人材の投入が長期間必要  
・今年の事業を次年度継続ではニーズを満たせない  
・ノウハウの移植が難しい



- 政府予算の獲得と執行の問題  
政府・自治体との連携が必要、予算執行が遅い(小さなNPOは投資資金に余裕なし)
- 拠点維持費(事務局運営費)の獲得が難しい
  - 事務局人件費、事務所費等が認められづらい(目安は15%)  
教育支援、子ども支援はスキルのあるスタッフのコストがかかる・・・研修、相談、教材開発 等
  - 民間助成金は、現地NPOを優先  
常にモデル事業の実施で現地NPOへのノウハウ移転が難しい
- 単年度予算主義  
中期計画を立てづらい。来年どうするのか？

広域非難者支援(東京の例)

- 避難者のストレスが大変高い
- ケアできる人材の不足
  - 通常の学習支援 → 学生ボランティアが主体
  - 避難者向けの学習支援 → スキルの高いスタッフの強いコミットが必要  
(通常業務との兼合)
- 民間助成金は、東北の支援を優先傾向
- 時間の経過でどうなるのか？ 誰も知らない、分からない

【活動理念】

すべての子どもが夢や希望を持てる社会の実現を目指して

親の貧富がこどもの教育格差、体験活動などの機会損失につながり、希望を持っていない子どもが増える中、すべての子どもに、十分な教育や体験活動の機会を与えることで、子どものやる気を引き出し、貧困の連鎖を解消する。

団体名 内閣府特定非営利活動法人 キッズドア  
 設立 2009年10月5日 (前身団体設立 2007年1月1日)  
 東京本部: 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4F  
 Tel 03-5201-3899 Fax 03-5201-3712  
 東北本部: 宮城県仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル7階  
 フラスコおおまち内  
 Tel 080-3341-3336、080-3337-9893

HP <http://www.kidsdoor.net/>  
 キッズドア復興ネット <http://kidsdoor-fukko.net/>



河北新報「東京のNPO 仙台で無料講座」  
2011年10月13日 夕刊一面



河北新報「中高生に無料夏期講習」  
2011年7月28日 朝刊6面



朝日新聞「貧困救う学びの場—教育あしたへ7」  
2011年1月8日 朝刊一面